



かながわ気候市民会議 in 逗子・葉山

2023年7月～12月

はじめに

神奈川県南部に位置する逗子市と葉山町は、温暖な気候で、海や山などの自然に恵まれているため観光地・保養地としても知られています。一方で、慢性的な交通渋滞などの課題もあります。この2つの地域で、脱炭素を目指しながら豊かな地域社会を実現するためには、市民の生活を支える地域の環境を、地域の行政、市民、企業などが協力して変えていくことが必要です。

かながわ気候市民会議 in 逗子・葉山は、地域主体による地域脱炭素化を促進する神奈川県の事業の一環で開催された会議で、逗子市と葉山町に住む、逗子市と葉山町に住む皆さんの中から無作為に選ばれた方46人が参加し、2023年7月から12

月にかけて、5回開催されました。逗子・葉山地域で2050年に「脱炭素で豊かな暮らしができる社会」を実現するために市民や行政、企業ができる取り組みを提案するとともに、両地域の「地球温暖化対策実行計画（地域編）」等へ取り入れられることを目指しました。

参加した皆さんの多くは、もともと環境や気候変動に関心を持っていなかった方々です。参加者が脱炭素した将来の地域の姿を描き、市民や行政が取り組むアクションを考えるには、市民生活や地域の生活環境（自然環境、インフラ、制度など）と気候変動との関係を深く理解することが必要です。

1.5°Cライフスタイルの活用

そこで、1.5°Cライフスタイルの脱炭素行動を参加者が家庭で試し、感想を持ち寄り話し合う「脱炭素ライフスタイルチャレンジ」を話し合いに取り入れました。

参加者の皆さんは、2週間にわたり、5種類ほどの脱炭素行動に家庭で挑戦しました。「自動車を使わずにバスや自転車で移動する」「電気自動車やバイクに買い替える（方法を考える）」「肉を食べない」「地域で作られた食べ物を食べる」「家を断熱リフォームする（ための準備をする）」などです。

脱炭素行動を取り入れたことで、参加者の皆さんは、今すぐできる脱炭素行動があることを体感しました。たとえば「肉食を減らす」という行動は、最初に学んだときには「やりたくない」と考える人が多かったのですが、2週間、本当に肉を食べなかったという人がいたことで、他の人も「できるかもしれない」と思うきっかけになりました。

けれども、地域の生活環境が変わらなくては難しい行動もあります。

かながわ気候市民会議 in 逗子・葉山は、地域の脱炭素化にむけた94種類のアクションをまとめ、逗子市・葉山町の行政、企業や市民に提案しました。

渋滞の多い地域では、バスだけの移動では病院や学校、職場、買い物に移動するにも不便です。地域で作られた農作物や魚を買い取る場所が思っていたより少ないこともわかりました。

こうした経験を持ち寄ったみなさんは、市民会議の後半では、移動・住まいとエネルギー・食・ものの消費という4つのテーマに関して将来の地域のために必要なアクションを話し合いました。脱炭素ライフスタイルチャレンジの経験が、市民生活を支える地域社会を、市民や行政、企業と一緒に作っていく行動を考えるための学びとして役立てられたのです。



1.5°C Lifestyles

脱炭素型のライフスタイル

<https://www.iges.or.jp/jp/projects/1p5deg-lifestyles>

公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）

〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口2108-11
Tel: 046-855-3700 E-mail: iges@iges.or.jp